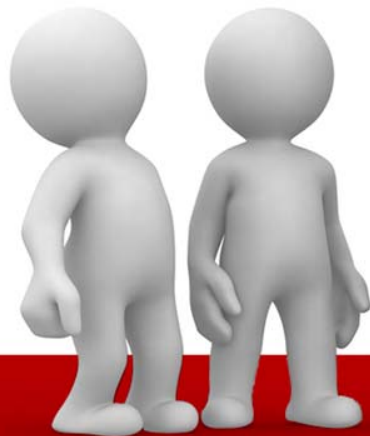


GCL ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー 育成プログラム

「博士課程教育リーディングプログラム」とは、統合的な視野と、独創的な発想を備え、産学官の各方面でグローバルに活躍するリーダーを育成する大学院教育プログラム支援事業です。優秀な学生をプログラムに集め、国内外の第一級の教員と産学官の参画のもと、専門分野の枠を超えた質の高い学位プログラムを構築・提供する大学院教育を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進します。この1つとして「**ソーシャルICTグローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム**」は24年度に採択されました。

本プログラムでは、修士から博士後期課程までの一貫した教育課程により、ビッグデータ、複雑システム、ヒューマンシステムの先端ICTを基軸とし、複数専門分野を統合して、社会の喫緊の課題を解決し、あるいは新たな価値をもたらす知識社会経済システムを創造的にデザインし、社会的イノベーションを先導するトップリーダーとチームを育成します。



コースの魅力

多彩なプログラム担当者

産官学から約90名のプログラム担当者が参加

密着多元評価

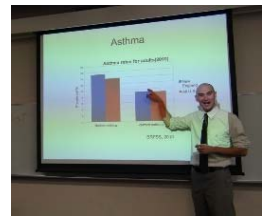
指導教員、外部指導者、メンター等による密着多元評価と、資格試験による評価を受ける

奨励金の支給

コース生には2年次から全員に奨励金が支給される(金額は毎年更改にて定める)※1※2

実践英語演習

グローバルに活躍するための実践的英語力を専門家により指導



GDWS (グローバルデザインワークショップ)

社会の第一線の見識者を招待、学生が主体的に参加し白熱討論を行う

GCL TechTalk

学内外の専門家による異分野をまたぐ講演シリーズ

国内外インターンシップ

社会経験をして問題意識を涵養する国内外のインターンシップをサポート※3

社会イノベーションプロジェクト

博士課程の学生が立案・企画し、指導教員や外部連携組織と共同で進めるプロジェクト

※1平成31年度以降は奨励金が支給されない場合があります。
※2原則として他の奨学金とは重複して受給できません。本コースの奨励金を辞退することも可能で、その場合は他の奨学金を受給できます。
※3就業経験がある学生は、それをもってインターンシップに代えることができる場合があります。

学生の企画・プロジェクトを強力支援

GCL 学生企画イベント: ロボティクスの大御所 Rodney Brooks と学生との討論会(例)

GCL News Letter: 学生が企画・編集・発行する GCL 広報誌

GCL Lunch: 第一線のプログラム担当者と学生の気さくなランチ

GCL ラボ: 学生が集まり意見交換・情報発信ができるオープンスペース

海外インターンシップ(実施例)

US原発対応最先端ロボティクス技術調査

US希少難治性疾患患者会調査研究

Stanford University VIA (Volunteer in Asia) Program



東京大学 ソーシャル ICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム 平成 28 年度 新入生 (M1) ・ 編入生 (D1) 募集

募集 説明会

新入生 (M1) 第 1 回	平成28年3月9日 (水) 14:00～	工学部 2 号館 4 階 246 教室
新入生 (M1) 第 2 回	平成28年4月5日 (火) 18:45～	
編入生 (D1) 第 3 回	平成28年4月5日 (火) 19:00～	同 245 教室

- ・ 予約等は要りませんので、開始までに会場に直接お越しください。

申請資格

- ・ 以下に挙げる東京大学大学院修士課程・博士課程に平成27年10月に入学した者、および、平成28年4月に入学する者。

研究科	専攻
情報理工学系研究科	コンピュータ科学専攻、数理情報学専攻、システム情報学専攻、電子情報学専攻、知能機械情報学専攻、創造情報学専攻
学際情報学府	学際情報学専攻
工学系研究科	都市工学専攻、電気系工学専攻
医学系研究科	社会医学専攻、健康科学・看護学専攻、公共健康医学専攻
農学生命科学研究科	農学国際専攻
教育学研究科	臨床心理学コース
経済学研究科	マネジメント専攻
公共政策大学院	
法学政治学研究科	綜合法政専攻

- ・ 修士学生の場合、上のいずれかの専攻において**博士後期課程進学を目指す者**。
 - ・ 広い意味で、先端ICTとその社会への応用に関心を持ち、積極的にそれらを学習する意欲のある者。2年次以後の進級者・博士編入者は、上に加えて：
 - ・ 先端ICTに基づいた社会的イノベーションにおけるリーダーとなることを志す者。
 - ・ 本プログラムの趣旨、履修要件等のルールを十分に理解する者。
 - ・ 博士の学位記に本プログラムを修了したことが付記されることを了解している者。
- なお、他のリーディング大学院プログラムを重複して履修することはできないものとする。

今後の募集時期

	募集人数(予定)	募集期間(予定)	採否通知(予定)
新入生 (M1) 第 1 回	40 名程度	平成 28 年 3 月中旬	平成 28 年 3 月下旬
新入生 (M1) 第 2 回	20 名程度	平成 28 年 4 月上旬	平成 28 年 4 月中旬
編入生 (D1) 第 3 回	若干名	平成 28 年 4 月上旬	平成 28 年 4 月下旬

- ・ 所定の様式と最新のスケジュールについては、下記本プログラムのホームページを参照のこと。

GCLプログラム ホームページ
<http://www.gcl.i.u-tokyo.ac.jp>

GCLプログラム事務局：
〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学工学部8号館621号室
電話：03-5841-8746
E-mail: gcl_admin@gcl.i.u-tokyo.ac.jp